

## 安曇野市地球温暖化防止実行計画に係る 平成23年度 取り組み結果

エネルギー種別	平成23年度結果			基準年度(平成20年度)比較	
	使用量	係数	CO2排出量 (kg-CO2) ( × )	CO2排出量 (kg-CO2)	増減割合 ( ÷ )
電気	10,326,484 kWh	0.481	4,967,039	4,501,800	10.33%
灯油	554,749 ℓ	2.490	1,381,325	1,282,490	7.71%
LPG	93,449 m <sup>3</sup>	6.000	560,694	500,151	12.10%
重油	120,660 ℓ	2.710	326,989	443,757	26.31%
ガソリン	119,835 ℓ	2.320	278,017	281,990	1.41%
軽油	54,057 ℓ	2.620	141,629	141,167	0.33%
計			7,655,693	7,151,355	7.05%

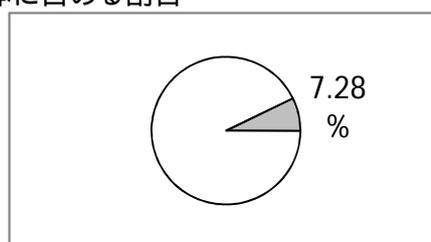
### 総括

平成21年4月より、市内の地球温暖化防止に向けた取り組みがされてきた。  
その取り組み結果について、温室効果ガスの排出量を基準年(平成20年度)と比較する。

温室効果ガスの排出量は、基準年(平成20年度)と比較して約7%の増加という結果になっている。  
このこと理由は、基準年には存在しなかった交流学习センターや保育園の新設と保育園等の近代化改修によるエネルギー使用の増加が考えられ、また、猛暑や厳寒による冷暖房設備の使用量の変化も大きく寄与している。

### ・平成21年度以降新築された施設のCO2排出量と全体に占める割合

施設名	CO2排出量(kg-CO2)
有明あおぞら保育園	58,440
穂高交流学习センター	281,592
豊科近代美術館・豊科交流学习センター	217,091
計	557,122



ただし、下記のとおり、平成23年度の排出量から、新築された施設の排出量を差し引き、それ以外の施設で比較すると、約1%の減少となっている。

$$\begin{array}{rclcl}
 \text{平成23年度総排出量} & & \text{追加になった施設の排出量} & & \\
 7,655,693\text{kg-CO2} & - & 557,122\text{kg-CO2} & = & 7,098,571\text{kg-CO2} \\
 & & \text{平成20年度排出量} & & \\
 7,098,571\text{kg-CO2} & \div & 7,151,355\text{kg-CO2} & = & 0.9926 \quad 0.7\%
 \end{array}$$

今後も、職員一人一人が『使用していない電灯を消す』といった出来ること、当たり前のことから、無駄を減らすという意識を持ち、新設、改修した施設を除いた既存施設では目標を達成するとともに、新設、改修した施設についても、十二分な省エネに取り組み、また、本庁等の公民館や図書館等の不特定多数の市民の皆様が使用する施設についても、無理の無い範囲での省エネの協力を推進していく。